



五日市(広島)

中央学院(千葉)



松江東(鳥根)



岐阜(岐阜)



伊川谷北(兵庫)



高松商業(香川)



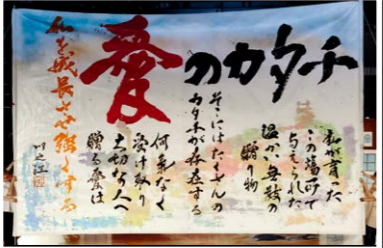
創価(東京)



上宮(大阪)



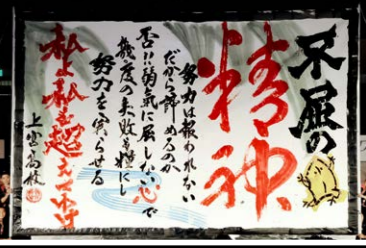
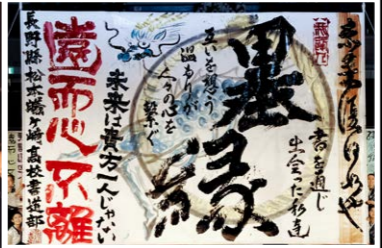
川之江



松本蟻ヶ崎(長野)



八幡中央(福岡)



三島



墨色の頂上決戦

校が「刻」の文字をダイナミックに大書するなどして、パフォーマンス部門の1位となる南海放送賞を見事受賞。川之江高校は演劇調のパフォーマンスで家族や地域への愛と感謝を表現する作品で会場を魅了した。

7月24日(日)、第15回書道パフォーマンス甲子園が一般観覧を中止して開催された。優勝校に初めて贈られる文部科学大臣賞は、大会初の3連覇を飾った長野県松本蟻ヶ崎高校が受賞した。8大会ぶりのW出場となった三島高校と川之江高校は、三島高



高松西(香川)



大曲(秋田)



須磨東(兵庫)



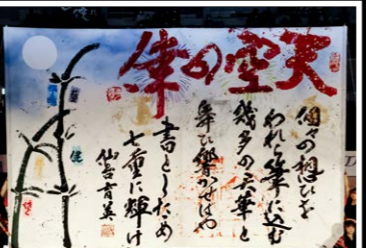
←大会の様や詳しい結果はこちら



大牟田北(福岡)



仙台育英(宮城)



鳥取城北(鳥取)

水戸葵陵(茨城)



本庄東埼玉

